

リニア中央新幹線三重・奈良ルート建設促進に関する共同アピール

東京・名古屋・大阪の三大都市圏を超高速で結ぶリニア中央新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、「国民経済の発展」、「国民生活領域の拡大」、「地域の振興」といった目的を達成するため整備が進められる国家的プロジェクトである。

平成23年5月に整備計画が法律に基づき決定され、主要な経過地が確定したことは、全国に新幹線駅も空港もない三県である山梨県、三重県、奈良県にとっては大きな前進であり、これまで我が国の発展が国土軸を中心に行われてきていることを鑑みると、国土軸に乗るといふ大きなぞみが達せられることとなった。

現在、東京・名古屋間においては、環境影響評価の手続きが進められているが、名古屋・大阪間についても、法律に基づく整備計画どおり三重・奈良ルートにより、その手続きを速やかに実施し、東京・大阪間の全線同時開業に繋げていくことが求められている。

リニア中央新幹線による交流人口の大幅な拡大、及び拠点となる中間駅の設置は、観光や産業経済、県民生活等の様々な分野での大きな効果が期待できることから、今からランドデザインを描いていくことが、重要な課題であり、そのためには、駅位置の早期決定が最も重要である。

そこで、三重県及び奈良県の行政と経済団体が一丸となって、以下のとおり共同アピールを行う。

- 1 リニア中央新幹線は、東京・大阪間の全線が開業されて初めて、その効果が遺憾なく発揮されるものであり、早急に、全線同時開業に向けた検討を実施し、その方策を示すこと。
- 2 リニア中央新幹線は、災害リスクへの備えとするため、東海道新幹線のリダンダンシー機能を備えたルートである三重・奈良ルートとすること。
- 3 三重・奈良ルートの中継駅は、その便益が紀伊半島全体に広がるような、交通結節性の高い位置に設置すべきであり、三重県、奈良県の意見を十分に反映し、早急に駅の概略位置を決定し、公表すること。

平成24年10月22日

リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会

会長 三重県知事 鈴木 英敬

リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会

会長 奈良県知事 荒井 正吾

リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会

会長（三重県商工会議所連合会会長） 竹林 武一

副会長（奈良県商工会議所連合会会長） 西口 廣宗